

〔3〕財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) たな卸資産の評価方法及び評価基準

たな卸資産の評価については、最終仕入原価法による原価法により評価しています。

(2) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産

建物については定額法を採用しています。

構築物及び什器備品については定率法を採用しています。

無形固定資産

ソフトウェアについては定額法を採用しています。

(3) 退職給付引当金の計上基準

従業員の退職給与に備えるため、従業員に対する当期末における退職給与要支給額を計上しています。

(4) 消費税及び地方消費税の会計処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式を採用しています。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(基本財産)				
基本金預金	4,116,263	5,765		4,122,028
広瀬孝六郎先生記念基金預金	11,097,120	45,288		11,142,408
論文奨励賞基金預金	195,861	799	38,087	158,573
技術賞基金預金	1,600,191	6,531	5,058	1,601,664
京都会議記念基金預金	12,331,179	50,324		12,381,503
外国人研究者招聘預金	608,289	2,483	119,040	491,732
小 計	29,948,903	111,190	162,185	29,897,908
(特定資産)				
退職給与引当預金	15,146,897	28,960		15,175,857
国際学会招致・活動積立預金	13,588,643	40,765	3,500,000	10,129,408
事務所更新積立預金	20,082,830	25,206		20,108,036
支部積立預金	5,000,000		2,500,000	2,500,000
小 計	53,818,370	94,931	6,000,000	47,913,301
合 計	83,767,273	206,121	6,162,185	77,811,209

3 基本財産及び特定資産の財源等内訳

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充 当額)	(うち一般正 味財産から の充当額)	(うち負債に対応 する額)
(基本財産)				
基本金預金	4,122,028		4,122,028	
広瀬孝六郎先生記念基金預金	11,142,408	11,142,408		
論文奨励賞基金預金	158,573	158,573		
技術賞基金預金	1,601,664	1,601,664		
京都会議記念基金預金	12,381,503	12,381,503		
外国人研究者招聘預金	491,732	491,732		
小 計	29,897,908	25,775,880	4,122,028	0
(特定資産)				
退職給与引当預金	15,175,857		15,175,857	
国際学会招致・活動積立預金	10,129,408		10,129,408	
事務所更新積立預金	20,108,036		20,108,036	
支部積立預金	2,500,000		2,500,000	
小 計	47,913,301	0	47,913,301	0
合 計	77,811,209	25,775,880	52,035,329	0

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土 地	42,228,560		42,228,560
建 物	44,126,030	8,869,326	35,256,704
構築物	1,127,045	917,968	209,077
什器備品	7,184,790	6,928,987	255,803
ソフトウェア	5,529,720	794,234	4,735,486
電話加入権	161,100		161,100
合 計	100,357,245	17,510,515	82,846,730

5 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

内 容	金 額
経常収益への振替額	
目的達成による指定解除額	162,185
合 計	162,185